

Ⅲ 高度シニア人材の活用について

3.1 高度シニア人材の活用状況 ※調査票問13の集計結果

高度シニア人材を活用したことがある事業所の割合 14.3%

- 令和7年7月31日時点で高度シニア人材(豊富な実務経験や専門知識を有する50歳以上の人材)を活用したことがある中小企業の割合は14.3%であった。
- 高度シニア人材について「活用したことがある」と回答した中小企業の割合を産業別にみると、「不動産業、物品賃貸業」が最も高く26.7%、次いで「情報通信業」が25.0%、「学術研究、専門・技術サービス業」が21.1%の順になっている。

【高度シニア人材の活用状況(割合)】

区 分	集計 事業所数	活用したことがある	今まで活用したことが ないが、今後活用する 意向がある	今まで活用したことが 無く、今後活用する意 向もない
中 小 企 業 計	680	14.3%	20.1%	65.6%
建 設 業	96	17.7%	24.0%	58.3%
製 造 業	80	12.5%	18.8%	68.8%
情 報 通 信 業	4	25.0%	0.0%	75.0%
運 輸 業、 郵 便 業	23	13.0%	8.7%	78.3%
卸 売 業・ 小 売 業	103	10.7%	17.5%	71.8%
金 融 業・ 保 険 業	6	16.7%	16.7%	66.7%
不 動 産 業、 物 品 賃 貸 業	30	26.7%	6.7%	66.7%
学 術 研 究、 専 門・ 技 術 サ-ビ ス 業	19	21.1%	15.8%	63.2%
宿 泊 業、 飲 食 サ-ビ ス 業	51	7.8%	19.6%	72.5%
教 育、 学 習 支 援 業	32	15.6%	18.8%	65.6%
医 療、 福 祉	135	20.7%	26.7%	52.6%
サ-ビ ス 業	101	5.0%	20.8%	74.3%
大 企 業 計	96	16.7%	11.5%	71.9%

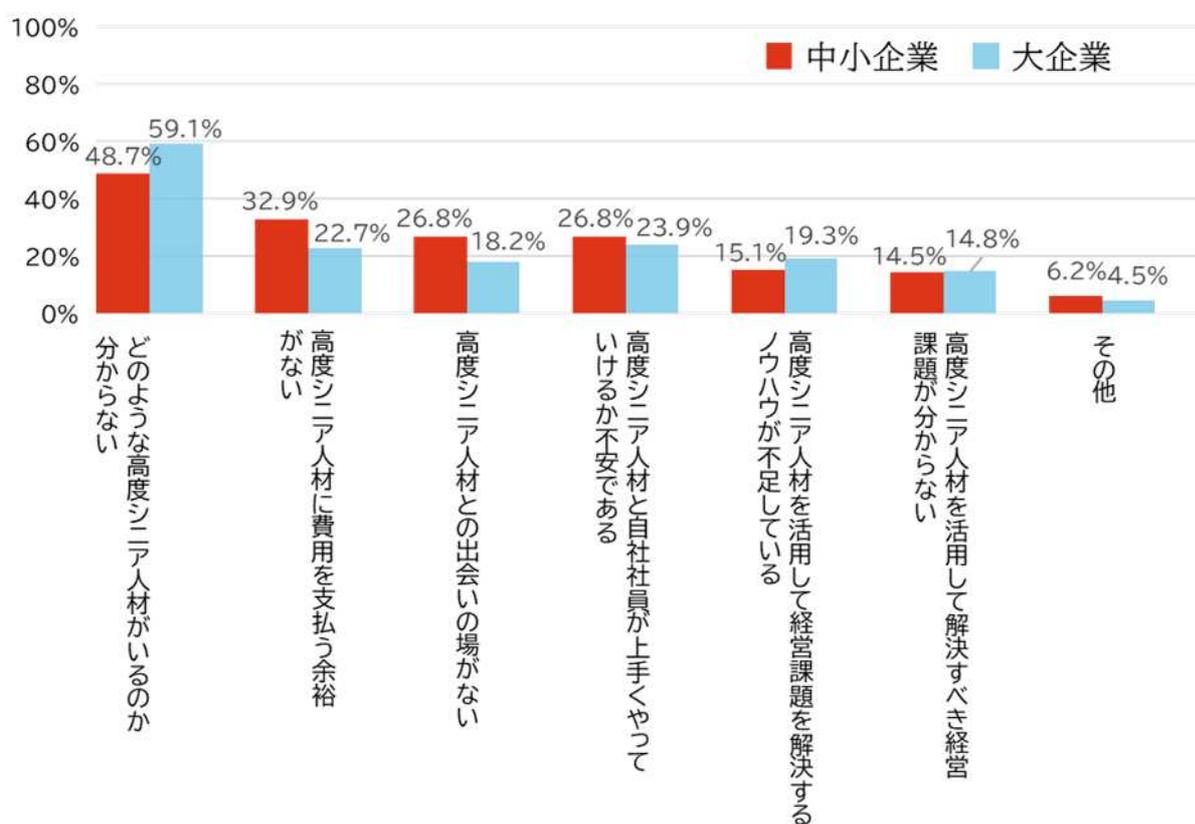
3.2 高度シニア人材を活用する上での課題(複数回答) ※調査票問14の集計結果

「どのような高度シニア人材がいるのか分からない」 48.7%

「高度シニア人材に費用を支払う余裕がない」 32.9%

- 高度シニア人材を活用する上での課題を伺ったところ、中小企業では、「どのような高度シニア人材がいるのか分からない」が最も多く48.7%、次いで「高度シニア人材に費用を支払う余裕がない」が32.9%であった。

【高度シニア人材を活用する上での課題(割合)】



※集計事業所数は、中小企業641、大企業88。